

新宮山彦ぐるーぶ第2012回

南奥駆道「玉置(本宮)辻」山在峠」の交差点検巡視

◇実施日..2019年03月24日(日) 晴時々曇後快晴

◇参加者..**順峯班**:沖崎吉信、豊嶋 寛、生熊千満子、岩本信行、

高階美根子、今中三恵子、真下修平、梶野照雄。

逆峯班:川島 功、濱野兼吉、児嶋道夫、上村洋司、

竹中卓治、斎藤和美、平田美紀、小中雅美。

計16名。

順峯班「山在峠↓玉置(本宮)辻」

この日の山行を終え、夕方自宅へ帰った。テレビを見るとアルプスを主に各地で遭難事故があつて、死者も出ていた。本日のコース・山在峠↓玉置辻間でも寒さの厳しい一日であつた。

直前に2名の欠席申し出(瀧本昭太郎、畑清子)があつたが、当日午前7時半前に本宮の世界遺産熊野本宮館駐車場に16名が集結。今回は瀧本グループから斎藤、平田、小中の三名の皆様が初ルートとのことで参加された。また、初参加の真下修平君(36歳)は、上北山村の地域おこし協力隊員として、休館中のホテルの再興に取り組んでいるようだ。又、現在弥山・八経ヶ岳への登山は、行者還トンネル西口と天川村からが大半であるが、上北山村からの登山ルートも開拓して村の活性化にもつなげたいと、中学校前の小谷林道から高塚山経由、一ノ多和迄のルートを整備中とのことで、今回の参加は我々の維持管理活動を参考にしたいとの思いもあつたようだ。我々でよければお手伝いもする、と申し出ておいた。

出発前、交差登山とするのでその班別や諸注意などを話し、二班に分かれてスタート地点へ向かった。我々順峯班は午前8時に山在峠よりスタートする。



出発前の説明



山在峠で



尾根鉄塔で

順調に進み、1時間20分で金剛多和に着く。途中数名で水場の確認に行ったが、水流も十分にあり異常は無かつた。ここまでの倒木は一本だけであつた。この区間は昨年未実施で、2年ぶりとなる。昨秋の度重なる台風の襲来もあつて、かなりの倒木があると思つていたが、どうもなさそうだ。



金剛多和手前の水場



金剛多和・役行者石像



金剛多和で

さあ、いよいよ五大尊岳と大森山への急登が始まる。今日のスタートの山在峠が標高250m位、最高点の大森山山頂が1078mで単純標高差は800mほどだが、大黒天神岳と五大尊岳の下った分をプラスすると累積の標高差は1000m位にはなるだろう。

ヒーヒー喘ぎながら金剛多和から一時間半を要して、やっと五大尊岳北峰に着く。少々休憩の後、降りた所でチェンソーの音が聞こえる。その先の見晴らしの良いピークで逆峯班8人と11時45分に合流し昼食とした。

聞けば約10本をチェンソー処理したが、相対的に登山道を含め問題のある箇所は無かったとのことだった。



倒木は4本処理



五大尊岳北峰に到着



逆峯班と合流

車のキーを交換して、12時35分それぞれ上向き、下向きに出発する。切畑辻、篠尾辻を通過し、大森山への鞍部までやってきた。ここからまたヒーヒー、ハーハーである。今月の1日に71歳になった。急登の長いのはしんどくなってきた。20m位先に見えるあの大きな木の所まで、あの岩のある所までと目標を決め、小切って登ることが多くなった。

大森山手前、三角点のある大水ノ森までやってきた。生熊さん

と高階さんがコーヒーを用意してください。梶野、岩本、真下の3名がまだ着かない。チェンソーの出番が少ない梶野君が何かを切っているようだ。15分位待ったか、さあ玉置辻まで下りばっかり。一時間で玉置辻に到着、お疲れさんでした。



大森山への登り



大水ノ森でコーヒー



大森山山頂にて

最後は玉置川経由で熊野本宮館駐車場まで戻った。

* 倒木も少なく道荒れもない。台風の影響は略なかった。

* 標識に腐りも無く、次回への課題もない。

* やはり逆峯のほうが30分位早いようだ。

* 四月は毎週の行事予定です。平成最後の行事ですのでご協力、ご参加をお願い致します。

* 10連休中の小屋番もよろしくお願ひします。

行動タイム

熊野本宮館P07:30↓山在峠08:00↓08:37尾根鉄塔↓09:10大黒天神岳09:27↓水場↓09:43金剛多和09:50↓五大尊岳北峰11:33↓12:45逆峯班と合流(昼食)12:35↓大森山の登り13:07↓14:10大水ノ森(三角点)↓大森山14:35↓15:40玉置辻↓16:25熊野本宮館P。
(記：沖崎、写真：梶野)

逆峯班「玉置(本宮)辻」山在峠

本宮の世界遺産熊野本宮館駐車場に集合し、玉置辻からの逆峯班、山在峠からの順峯班の二班に分かれ、途中の合流場所で昼食とお互いの車の鍵を交換し、本宮館に戻ることを確認し、沖崎代表の行動指示、初参加の上北山村の真下さん、斉藤和美さんの山友の平田さん、初参加の小中さんらを紹介して、それぞれの出発地に向かう。

逆峯班の8名は、川島車に児嶋・濱野・竹中、上村氏運転の沖崎車には斎藤・平田・小中さんが分乗し、宮井大橋から国道一六九号を経由して、玉置川集落を経て玉置辻に向かう。

車窓からは照葉樹のところどころに熊野桜がピンクの花を咲かせ、春の到来をうけている。

しかし、玉置辻に到着すると風は頬を刺すよう冷たく、なかなか止みそうにもない、本来なら上着を一枚脱いで出発だが、今日はまだ上に羽織りたいくらいである。全員準備が整い出発。



熊野本宮館Pで始令



玉置辻で出発準備と参加者



林道の下奥駆道は、いつ崩落してもおかしくないような状態である。安全を優先すれば林道を歩く方がはるかに安全であるが、それでも古の道は大切にして次の世代へと繋いでいかねばならないが、「山彦」の人力での作業ではとてもおぼつかない。



林道終点出合奥駆道



古い石柱道標



奥駆道左側の皆伐斜面

しばらくして今回の最高峰大森山への登りにかかる。一番長い登りである。奥駆道の傍らにバイカオレンの可憐な花が咲いて心を和ませてくれる。杉だか檜だかの切り株に咲き誇っているのをカメラに収める。

途中第九靡「水呑宿」への分岐標識があるが今回はそちらにはまわらず、旧篠尾辻・大平多山・甲森分岐迄約1時間を要した。



大平多山・甲森分岐



大グエからの眺望



大森山山頂にて

ここで玉置辻組が全員揃い休憩し、記念写真も撮る。更に進んで最高地点の大森山(1078m)の山頂。ここには三角点はな

く標高示す標識が立てられている。

大森山から5分ほど歩いた所で松の倒木。ここから立て続けに二本目、三本目倒木が道を塞ぎ児嶋さんのチェンソーで処理。

すぐ下で川島さんのチェンソーも音を立て、少しの間に五本の倒木を処理する。途中児嶋さんは奥駆道の標識を取り付ける。又、女性陣の中に奥駆道のプラゴミ等を拾っている方もいて、目立ちはないがこんな地道な活動も私たちの活動の一旦である。

大森山から10分ほど歩くと大水ノ森(1044.9m)着く。ここには三等三角点があり、新宮山彦の第44次刈峰行(平成5年4月11日)標識が設置されている。



案内板手直し



松腐倒木の切除



大水ノ森(三角点)にて



手鋸で切除



これより急斜面下り



倒木松の切除

山頂から15分ほど下ったところで、本宮大社への標識があり左折して下って行くのだが、誤って直進してしまいそうなので、侵入しないように、児嶋さんがトラロープを張る。

切畑辻で休憩。標識のささえが弱くなり細引きで補強し、上村さんは尾根に侵入しないよう張られたロープを手直して、入り込まないようにする。



旧篠尾路・大森山への分岐



切畑辻到着



クヌギ倒木処理後

ここから児嶋、川島さんが道を塞ぐ倒木を処理して、11時45分に山在峠からの順峯組と合流して昼食となる。



小倒木の切除



交差合流(昼食)



本日の参加者

昼食後はカフェ「こじま」が開店。コーヒーに梶野さんの差し入れのラスクや和菓子、チョコレートなどのお菓子もでて楽しむ。それぞれの自動車キーを交換して玉置辻、山在峠に向かつて出発。あとは五大尊岳、金剛多和、大黒天神岳、を下って山在峠であるが、登りよりも楽ではあるけれど、急峻な下りが続きロープや傍らの木をつかみながらもやはり結構膝にこたえる。まして奥駆道は照葉樹林の姥目樫等は、撫などと比べ落葉はよく滑るので、より慎重に気を配らないといけない。



昼食後・各班出発



五大尊岳・北峰



五大尊岳・南峰

順峰組が倒木等の処理をしてきているので、周辺の景色や蛇行して流れる熊野川の様子を眺めながら下っていくが、大斎原がなかなか視界に入っていない。張り出した支尾根に隠れて残念ながら望むことができないのだ。
 金剛多和（六道の辻）で休息。ここの「役の行者像」は微笑んでいて、なかなかユニークで非常に珍しい「役の行者」である。金剛多和から大黒天神岳（573.6m）二等三角点を経て山在峠に15時30分に到着。



金剛多和にて



大黒天神岳山頂



尾根上鉄塔



アセビ満開！



山在峠（宝篋印塔）に無事下山



逆峯班は、チェンソー、手鋸で処理した倒木は11本、児嶋さんが道中設置した標識は7枚。上村さんは剪定鋏で張り出している枝の処理。私も行者さんたちの袴が茨のトゲなどで破れて困ると聞いていたので、小さな剪定鋏で奥駆道沿いに生えている茨を切除した。

・主な作業内容

- ① 生倒木5本、腐木4本・小径木2本切除。
- ② 標識設置；7箇所。標識手直し；1箇所。

- ③ 剪定鋏で茨等の小灌木切除。
- ④ 奥駈道の落枝除去。

今回の巡回整備は、此処の奥駈道中にある五カ所の靡を全部巡ることができなかったのが、遠方よりの参加者には残念だったかも知れないが、また訪れていただけたらと思う。

道を塞ぐ倒木処理、標識等の取付けによって、より安全、快適に奥駈道を歩いてもらうことができると確信できる活動であった。

行動タイム

新宮発 6:45→7:15 熊野本宮館 P 7:35→8:20 玉置辻 8:30→8:50
林道終点出合→9:22 古い石柱道標→9:30 甲森・大平多山分岐
9:35→10:00 大森山 10:05→10:25 大水ノ森(三角点) 10:30→
11:08 旧篠尾路・大森山への分岐→11:15 切畑辻 11:20→11:45
合流(昼食) 12:35→12:45 五大尊岳北峰→五大尊岳南峰 13:00→
14:05 金剛多和 14:10→14:30 大黒天神岳→14:57 尾根鉄塔
15:05→15:30 已在峠 15:40→15:55 熊野本宮館 P 16:25(解散)。

(記:濱野、写真:川島)